

第1回 牧の台小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成23年9月8日（木）

午前10時～12時

場 所：第一自治会館

参加人数：21名



1 松村先生（大阪大学）からひとこと

懇談会を始めるにあたって、大阪大学の松村先生からコメントをいただいた。

- 専門は交通計画だが、行政の計画策定には何度も関わらせてもらっている。計画とは、将来どういう風になりたいなあ、どういう風にありたいなあ、というのを表現するもの。計画をつくるときは、課題の把握、目標設定、代替案の提案、実施、という手順を経て作られる。
- その課題の把握をするとき、実は「少子高齢化」というのは課題ではない。では何が問題になるのかというと、外出しなくなったりして健康を害してしまったり、地域活動をするときなどに入出が足りなくなったりして、「地域活力の限界」を感じるようになるのだ。
- この活力の低下は、川西市に一樣にみられるのではなく、北部と南部で異なるので、地域別に課題を把握して目標と代替案をつくる必要がある。
- 近畿大学の久先生という方が、まちづくりをするときの方法として「まちを変える」、「私とまちの関係をを変える」という2つを提唱されている。私は普段から「地域にお金を落とす」ということを実践している。買い物は家の近くで、など。これは私の信条で、「私とまちとの関係」が大事だと思っており、こだわって行動している。
- 「誰かこんなことをやってくれ」と言うだけの人もいるが、大和団地の方々は今までいろいろな取組みをされてきた実績があるので、行動に移せると信じている。そのためにはまず、ほかの人がやっていることを共有して、「一緒にやろうぜ」という話しができればいいなと思っている。そうなれば、活動がぐっと進むと思う。
- 宮本常一氏が「家郷の訓」という本の中で、かつて村の中で個性を発揮するためには、村の風習にしっかり染まり決まり事を理解する必要があった、と述べている。今の学校教育では個性を発揮しなさいと教えているが、それだけでは住みやすいまちはできないのではないかと思う。地域活動で大切な地域の土台が醸成されるのではないだろうか。
- 3回の懇談会で、どんな地域をつくっていくのかを話してもらえれば、頑張ってください。



2 グループワーク

3 班とも、空き地・空き家の増加、公共交通、商店の利用しやすさ、道路上での危険、公園の活用しやすさ、ゴミステーションの問題など幅広い問題・課題が出された。

解決のために、空き地空き家の活用方法や、公園が利用しやすくなるための方法が提案され、またゴミステーションなどの問題については、向こう三軒両隣の精神でなんとかできないかという意見が出された。

《A班》金子さん、小泉さん、松井さん、山下さん、東浦さん、尾崎さん、八木下さん

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老々介護のため、疲れている人が多い ・ 高齢者、ひとり暮らしが多く、気を配ることが多い ・ 小地域活動で、お食事会がたびたびあるが、参加する人が限られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣家で見守る、声かけ活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃料が高い(駐車場) ・ 商店街に駐車場がない ・ 商店街がほしい(店をつなげてアーケードにしたい) ・ 駅前をもっと活発にしたい ・ 商店が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地元の店で買う」をPRする ・ 駅前の再開発 ・ 商店会でリクルート活動 ・ 店と店で共参して売り出しをする
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き地の雑草が伸び放題 ・ 街路樹がしょぼい ・ ゴミステーションの見た目が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草して美しいまちなみをつくる ・ 「街をきれいにし隊」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が狭い、歩道がなく危ない、駅前周辺 ・ 通学路の安全確保 ・ バスルートを広げてほしい ・ 側溝のグレーチングが滑りやすい ・ 側溝に子どもが落ちる危険性 ・ 坂道が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ LU 側溝に変える
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミステーション当番の時に外出予定があると困る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向三軒両隣活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大和地域内に小さな神社がほしい ・ 平木谷池を利用したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の土地を貸してほしい

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同世代の関係が希薄 PTA の活動を敬遠 ・ 地域活動に若い人が出てくれない ・ 地域の子どもの、年齢層を超えた交流が少ない ・ 地域活動・組織への新規参加者不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間同士声をかけてみんなで参加する ・ できることから参加する
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏場は公園が暑すぎる ・ 小さな子どもには遊具が大きすぎる ・ 小さな子どもの集う場所が少ない(同年代の親の交流が図れない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園に日陰(庇) 児童遊具の整備 ・ 外からも入りやすい PR を行う(グループとグループの交流)



《B班》八田さん、西山さん、播野さん、久原さん、大久保さん、井口さん、佐野さん

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯がついていないところがあり、暗い ・ 空巢やひったくりなどの犯罪が増えてきている ・ 交番に誰もいない時が困る ・ 子どもが自転車に乗るときに、不注意な運転をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実態調査の上、市に申請する、自治会に頼む ・ ウォーキングする方にパトロールを依頼
<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧の台会館2階にトイレ、エレベーター、駐車場 ・ 散歩中のトイレがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と警察に頼んで、交通安全教室をやってもらう ・ 市に申請
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の組織率の低下 ・ 独居老人が多く、心配 ・ お年寄りが買い物に行きやすくするために、バス停やバス路線を増やした方がいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員さんにお知らせする
<ul style="list-style-type: none"> ・ R173号以外でほかのまちにアクセスしたい 	

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 畦野駅前で少年少女がたむろして食べ散らかす 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人宅の植木がはみ出しているので、歩道がせまい ・ 犬猫のフン、犬の鳴き声 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暮らしのマナー集を地域でつくる、暮らしのQ&A ・ ダミーのカメラ設置、罰則をつくる ・ モラルの啓発
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの集積場所の後始末が遅くまでできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所の協力、出かける際の声かけ ・ 自主的な思いを育てる、活かす
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の遊具が少ない ・ 側溝の劣化 ・ 歩道の並木（日陰）が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撤去の際に住民と話し合う
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家や空き地の有効活用、空き地の雑草 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Iターン、Uターンの仕組みづくり ・ 大和サロンへの有効活用をさせてもらう ・ 若者が集まるようなサロン
<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店の減少、駅から離れたところにもお店があると便利 ・ 商店の品数が少なく、買い物が不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で買い物する意識づけ ・ 配達、地域のネットワーク、買い物登録システム ・ 循環バスの値下げで買い物促進



《C班》井芹さん、井関さん、堀部さん、土肥さん、兼定さん、加田さん、大西さん

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山際の空き地に猪が出る。エサをやっている人がいる ・ 犬・猫のフン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エサをやらないよう、呼びかけ注意する ・ 犬との散歩のときに拾う
<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居老人が多い ・ 少子高齢化対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人が入居できる賃貸住宅（福祉サービスつき）をつくる

地域の課題	課題解決に向けたアイデアなど
<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし、孤独死 	<ul style="list-style-type: none"> 近くに住む人（隣組）の声かけや見守り
<ul style="list-style-type: none"> ゴミ当番をちゃんと守る 	<ul style="list-style-type: none"> 日程ボード取り付け、アミ設置
<ul style="list-style-type: none"> 学童クラブの下校時の安全 児童数に対して子ども会加入者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間も防犯のチームをつくる 子ども会活動の充実、活動内容を知らせる、入会呼びかけ
<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化 コンビニが通い 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街は話し合い（消費者を交えて）イベント等で集客に努める 駐車場の充実
<ul style="list-style-type: none"> 坂が多い割にベンチが少ない 駐車場が少なく路上駐車が多い（特に夜間） 十字路での事故 自転車が歩道でスピードを上げて走るのが危ない 道の狭い場所が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ベンチ設置 警察の取り締まりも必要、パトロール 車購入時の駐車場厳守 空き地の駐車場利用 信号設置
<ul style="list-style-type: none"> バスの路線、本数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上は免許を返上するので、バス利用をするのではないか
<ul style="list-style-type: none"> 200名以上収容できる会館が必要 住民が飲食できる会館が自治会館しかなく、100名しか同時に集まれない 参加しない人がいる。大勢人があつまるのが好きでないらしい 	<ul style="list-style-type: none"> 広い集会場建設計画をつくり検討する
<ul style="list-style-type: none"> 空き家が多い、持ち主不明 空き地に雑草が茂って困る、動物が住んでいるかもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> 市が調査 有効活用（新入居者を募集）
<ul style="list-style-type: none"> 公園の有効活用、トイレ必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公園のトイレを洋式にする 公園の建設、遊具の充実
<ul style="list-style-type: none"> 隣の樹木の枝が張り出して、車の運転に困る。文句を言っても聞かない 	<ul style="list-style-type: none"> 隣組の話し合い



3 各班の発表概要

A 班

- ・ 「商店街に元気を出してほしい」「活動への参加者が少ない」「子どもが集う場所」などの課題が出された。
- ・ これらはすべて、PR が不足しているのではないかという話になった。もっと積極的に PR を行って、良くしていきたい。



B 班

- ・ 「防犯灯がなく暗い」という意見があった。
- ・ 「個人宅の植木がはみ出しているので、歩道がせまい」という課題に対して、「暮らしのマナー集を地域でつくる、暮らしの Q&A」をつくればどうかというアイデアがでた。
- ・ ゴミ収集やイヌ・ネコのフンなど、モラル面の話になった。

C 班

- ・ 会館に 100 人しか入りきらないため、200 人入る飲食可能な場所がほしい。
- ・ バス路線をもっと広く回ってもらって、本数も増やしてほしいという意見があった。
- ・ 「空き家や空き地が多い」という意見には、駐車場にしてはどうかというアイデアがあった。
- ・ 地域には、イヌやネコ、イノシシも出る場所があり、おびやかされているのが現状。

4 おわりに

最後に松村先生よりコメントを頂いた。

- ・ 地域の活動は、実はそれぞれつながっている。例えば、「防犯」のパトロール活動は、人のつながりをつくって、「あいさつ」を生み出す活動になっている。
- ・ 一発で倒そう、とは考えない方がいい。もっと地道に、いろいろやって、少しずつよくしていこう、という姿勢がいいと思う。
- ・ 「じゃあ、一回やってみましょう」と、みんながそれぞれ自分が今やっていることの中で、ちょっとずつ工夫していってみてください。期待しています。